

2019年 5月22日

2019年度基礎研修「Ⅱ」受講生の皆様

北海道社会福祉士会
生涯研修委員会 委員長 渡邊建司

事前課題の作成等確認しておくこと

この度は、基礎研修Ⅱの受講ありがとうございます。

さて、基礎研修Ⅱでは事前課題や修了課題が設定されております。別紙をご覧ください取り組んでくださいますようお願い致します。

課題のポイント

<事前課題（採点しない）>

科目理解を深めるためのステップとして設定されております。現在の実務の振り返りとして取り組んでいただき、研修当日持参してください。

○ ソーシャルワーク理論系科目 実践事例演習 「理論を言語化する」

展開過程について「(学生)に説明する」というところまで深めようというものです。研修当日にグループ内で発表していただく時間があります。

○ 地域開発・政策系科目

- ・地域における福祉施策と福祉計画

「所属組織が所在する自治体の福祉政策や福祉計画を理解する」

- ・社会資源の理解と社会資源開発

「所属組織が所在する地域の社会資源を理解する」

こちらの課題については、クライアントを取り巻く環境を考えてみようというものです。また、行政計画にも目を向けるのは、クライアントの支援から、ソーシャルアクションや社会資源の開発が連動している視点を意識使用というものです。

○ 実践評価・研究系科目 実践研究発表の方法 「分科会発表申込用紙、レジュメ作成」

地域開発・政策科目、人材育成系科目、権利擁護・法学科目のすべてが修了すると、実践評価・研究系科目が受講可能となります。実践研究発表の方法については、実際の日本社会福祉士全国大会での発表を想定して、その発表の申し込み、レジュメを作成していただきます。

<採点させていただく課題「修了課題」>

期日までに事務局に直接提出（郵送）してください。

○ 地域開発・政策系科目 修了レポート 「社会調査の方法と実際」

地域開発・政策系科目修了後、事後に「社会調査を行い、調査結果をまとめプレゼン資料を作成する」という課題が出ます。今回の事前課題で見出した地域の課題や地域の実情への「仮説」が社会調査のテーマや目的につながります。

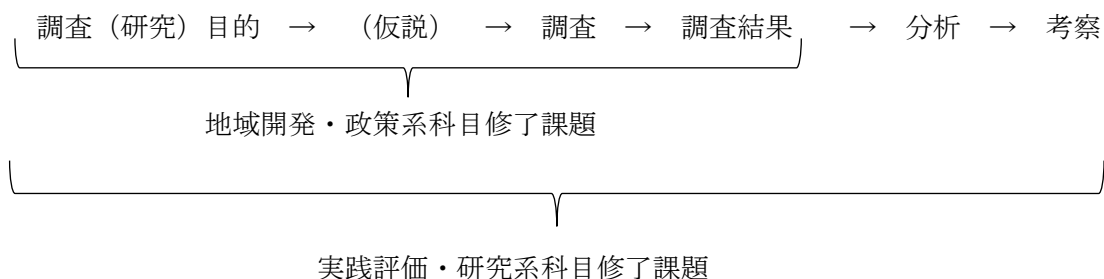
○ 実践評価・研究系科目 修了レポート 「分科会発表申込用紙、レジュメ作成」

実勢研究発表の方法において、事前課題についてグループでディスカッションします。それを受けて、さらに質の高い発表申込用紙、レジュメ作成をしていただきます。

参考までに

上記二つの修了課題は、あくまで別々の課題ではありますが、連動させることで、より効果的な学習ができると考えております。

例)



実践評価・研究科目の修了レポート作成においては、地域開発・政策系科目の「研究課題、仮説」が「ぼやけている」状態だと、調査後の分析、考察までたどり着かなくなってしまうことがあるため、連動して取り組む場合については、意識して取り組んでください。

以上です。ご不明の点がありましたら、お手数ですが下記あてに連絡ください。一年間、一緒に学ぶことを楽しみにしております。

北海道社会福祉士会 事務局 電話：011-213-1313

担当理事（渡邊）電話：090-6269-0015

メール：watanabe@swsf.jp